旭ヶ丘キリストの教会
主日礼拝順序
２０２２年１月１６日

司会：千田俊昭
奏楽：千田祥子

黙　　祷		一　同
讃　　美※	讃美歌５６「七日の旅路」	一　同
主の祈り※	（聖歌表扉または讃美歌564番をご覧ください）	
讃　　美	讃美歌４６１「主われを愛す」	一　同
教会学校	紙芝居「空の星より多く」	牧　師
讃　　美	讃美歌２２８「ガリラヤの風」	一　同
聖書朗読	ネヘミヤ11:1-3	
奨　　励	ネヘミヤ記の福音(第9回)	牧　師
主　　題	**「再建は何のため？」**	
讃　　美	讃美歌９０「ここも神の」	一　同
献　　金	献金と感謝の祈り	
聖　　餐		
頌　　栄※	讃美歌５４４「天つ御民よ」	一　同
祝　　祷※		牧　師
来週の箇所	黙示録第 20 章	

※印のところでは御起立下さい。

☆　はじめて集会においでの皆様。心から喜び、感謝してお迎え申しあげます。しかし、初めての方に無理な勧誘をするようなことは、一切いたしません。むしろ、そっとしておきたいと思うわけです。その態度を冷淡や不親切と誤解なさらないで下さい。
☆　私たちは何派にも属さないクリスチャン個人の自由な交わりの教会です。聖書を学び、キリストに信頼し、キリストが与えてくださる神の義を何より大事にし、信じる者同志が兄弟姉妹として受け入れ合う群れです。
☆　献金は神への感謝として、各自が自由意志で行うものです（２ｺﾘﾝﾄ9:7）。入り口に献金箱がありますので、どうぞご利用下さい。
☆　キリスト教について、あるいはどんな質問でも、いつでも遠慮なく牧師にご相談下さい。
☆　第二礼拝後、軽食を用意してありますので、お時間のある方はどなたでも、ご自由にお召し上がり下さい。
☆　二階に教会図書がありますので、どうぞご利用下さい。

旭ヶ丘キリストの教会　ニュース

《今週の歩み》
１/16（日）聖日礼拝
　/17（月）
　/18（火）
　/19（水）13-16:OBSｸﾗｽ
　/20（木）10:00聖研
　/21（金）
　/22（土）13-16子供ｵｰﾌﾟﾝﾊｳｽ

《祈りの課題》
①コロナ禍の速やかな終息のために
②礼拝に来れなかった人々のために
③教会学校の子供たちが救われますように

良書ハイライト

「母の祈り」

加藤常昭「自伝的説教論」（キリスト新聞社）p.53

私が三日の祈りの後、伝道者としてのお召しを受けたと確信したとき、母は、それを予め知っていたかのように言い当てた。なぜかと言えば、私が誕生後まもなく大病した時、神に癒しを求め、癒されたら神に捧げると既に祈っていた。母としては、その祈りが今聴かれたと思ったのである。しかし、これは私にとっては思いがけないことであった。母から一度も、そのような祈りについて聴かされていなかったからである。母は沈黙を守っていた。なぜか。

この冬の夕日の中の対話において、奇妙なことだが、私は伝道者として召されたという光栄な思いよりも、少々憤りを覚えていた。なぜ自分にとって重要な決断を母親がしておきながら、これまで黙っていたのか。憤懣を見せて、なぜ黙っていたかと問うた。当然とも言える私の問いに、母はにこやかに答えた。言葉そのものは忘れているが、要するに「お前には関係のないことだ」と言ったのである。ますます当惑しながら、息子の将来について神と約束しながら、当人には関係ないとは何事だと更に問うと、今度は少し丁寧に、こういう趣旨のことを口にした。

なるほどそうであろう。しかし、これは私と神との間のことであって、もし私の祈りを神が聴き入れられたら、神がお前をそう導かれるであろうと確信していた。その時になって、初めてこれがお前自身で決めることになる。私が、もしもお前を育てながら、お前は伝道者になるべき者だ、もう神様と約束しているなどと言い続けたら、いささかひねくれているとさえいえるほど他人の言うことを聞かないお前が、親の願い通りに伝道者になることを決心しただろうか。伝道者になるかどうかは、親の願いではなく、神の御心が決めることであろう。神が決めて下さったら、いつか必ずお前をお呼びになると信じていただけだ。祈りが聴かれて嬉しい。母の言葉を聴きながら、私は一言もなかった。